

東照宮へ、ロマネスク日光街道⑨1日目 小金井宿～石橋宿

日時：2023年10月14日（土） 天候：晴 歩数：18000歩 距離：12km

集合：JR東北本線小金井駅 11時

コース：小金井駅→小金井一里塚→領主陣屋跡→慈眼寺→金井神社→小金井宿本陣跡→蓮行寺→
手打ちうどん田舎や→秋の風景（稲田、コスモス、はさがけ、栗の実、赤トンボ、柿）→
下石橋一里塚→石橋愛宕神社→石橋本陣跡→開雲寺→石橋ビジネスホテル

参加者：熊坂L 勅使河原 高橋文 奈良 清水 市村 高橋友

7人

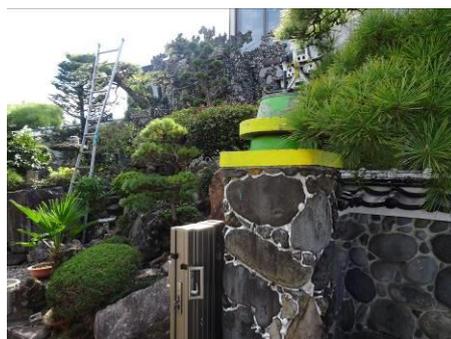
「東照宮へ、ロマネスク日光街道」⑨1日目、奥村サブリーダーが用事のためにホテルでの夕食懇親会からの参加となり、この日のウォーキング参加者は7人となりました。小金井宿から石橋宿までの小金井一里塚と下石橋一里塚のふたつの一里塚巡り。慈眼寺、金井神社、蓮行寺、石橋愛宕神社、開雲寺と寺社を訪れていにしへの歴史を辿りました。

9月は真夏日が何日もあり、「秋はいつになったらくるの」と思っていたのですが、10月に入り朝晩は大分過ごしやすくなりました。この日は絶好のウォーキング日和、稲田、枝豆畑、黄色や紫のコスモス、牛蒡畑、天日干しのはさがけ、栗の実、赤トンボ、黄色の柿、カラスウリの白い花と秋の風景を満喫。空気が澄んで空高く、イワシ雲も出てきて秋を感じる1万8000歩のウォーキングでした。



小金井駅 11時05分～小金井一里塚 丸塚と榎・欅塚～領主陣屋跡

小金井駅構内空きスペースで、熊坂リーダーがコース説明。11時5分にスタート、10分ほど歩いて日本橋から22番目の小金井の一里塚へ。塚がふたつあり、この塚の間を日光街道が通っていました。江戸時代の道幅は5間（約9m）だったことが発掘調査で分かっています。西側の丸塚の前でストレッチ、東側の塚には下野市名木30選の榎と欅（くぬぎ）の巨木が同居しています。集合写真を撮ってスタート、国道4号と合流して北進。佐倉藩の出張陣屋があったと考えられる菅井製菓前へ、小金井宿の管理は壬生藩から幕府へと何度か変わり佐倉藩領として明治時代を迎えました。庭先に手造りのお城モニュメントがありました。



新田義兼が建立した慈眼寺 葵の紋～赤灯籠の参道を進み金井神社へ

少し歩いて、建久7年（1196年）に下野の豪族、新田義兼が建立した慈眼寺へ。身代わり・厄除の観音様として親しまれています。参道を進んで行くと大きな手のひらモニュメントがふたつ。高橋さんと勅使河原さんに腰かけていただき写真をパチリ、2人ともニコリ、座り心地が良かったようです。代々將軍家からの信仰が篤く、本堂の鬼瓦には葵の紋が入っています。慈眼寺隣の金井神社へ、赤灯籠の参道を進み本殿へ、大きな阿形と吽形の狛犬が睨みをきかせています。本殿は一間社三方入母屋造り、格子の隙間越しに本殿の中のケヤキ素木造りの見事な彫刻を写真に納めました。均整のとれた素敵な鐘楼堂もパチリ。



小金井宿本陣跡～蓮行寺～桑畑～「手打ちうどん田舎や」で昼食タイム

赤灯笼の参道を出て日光街道（国道4号）へ、隣が小金井宿本陣跡で門のみが残されています。本陣の大越家は建坪140坪の門構えで玄関付きの屋敷でした。国道を北進、日本橋から87kmの標識が出てきました。国道を右に入って枯山水の庭がある蓮行寺へ、水分補給の小休憩をして再び国道に戻り北進。左手に桑畑が広がっていて、虫に食べられて最上部だけ残った緑の葉が青空に映えています。国道と分かれて日光街道の小径を進み12時30分、「手打ちうどん田舎や」へ。店頭で手打ちの実演中、もりうどんや肉汁うどんなどをつけ汁で食べます。私はピリ辛つくねうどん大盛を注文、長くて硬いうどんで食べ応えがありました。



南北に日光街道と国道4号とJR東北本線～稲田やコスモスの秋の風景

田舎やの麵は、普通盛り、大盛り（普通盛りの1・3倍ほどか）、特盛り（同1・7倍）、2枚盛り（同2倍）、一番量の多いのは1キ盛りでした。隣席の小学校高学年の男の子が2枚盛りをペロリ。田舎やを出て日光街道へ、下野市役所のところに「日光街道を歩く」の案内板があり、「上空から見た下野市庁舎付近」の航空写真が出ていました。写真上側が西、国道4号（日光街道）が南から北へ伸びていて、田舎やの手前で国道と日光街道（赤線部分）が分かれ、日光街道は下野市役所の庁舎のところを通過していました。写真では下側の東をJR東北本線が南北に通っています。ここからの日光街道は自然満喫の秋の風景が広がっていました。まだ稲刈りがされていない稲田、枝豆畑、民家の庭先にはなんと大きなパパイヤが実っていました。黄色や紫のコスモス、収穫中の牛蒡畑、朱色の鮮やかな実をつけている木もありました。



自然満喫の秋の風景 天日干しのはさがけ 栗の実 赤トンボ 黄色の柿

自然満喫の秋の風景がまだまだ続きます。左手の田は稲刈りが済んで天日干し、はさがけ風景が広がっています。右手のフェンス越しの雑木林の中には栗の木があり、道路側にも栗の実が落ちています。高橋さんが栗のいがを靴で挟み込み、広げて実を取り出して大収穫。少し進むと雑木林の中の土道へ、「旧日光街道」の標板が出ていて、「これより赤道です。通行は自己責任でお願いします。下野環境保存会」と書かれています。落葉の感触が足に優しいふわふわ道です。青い空と白い雲に、赤トンボと黄色の柿が映っていました。



下石橋一里塚～イワシ雲 カラスウリの白い花～愛宕神社～石橋本陣跡

雑木林の中の旧日光街道を進んで行くと草に覆われた小高いところが出てきました。「下石橋一里塚」の説明板があり、「下野市内を通っていた旧日光街道には、日本橋から22番目の小金井一里塚、23番目の下石橋一里塚（西塚）、24番目の下古山一里塚（消滅）があり・・・」と書かれていました。雑木林を出ると国道4号と合流、東京から91kmの標識を通過。進行方向の青い空にイワシ雲が広がっています。カラスウリの白い花をパチリ、14時35分に石橋愛宕神社参拝。国道を少し進んで竹中酒店へ、栃木県の県鳥大瑠璃の名を冠した地酒「大瑠璃」を購入。93kmの標識のところに石橋本陣跡がありました。



時計台～開雲寺～16時 石橋ビジネスホテル 1万8000歩 夕食懇親会

本陣跡から100mほど先に石橋交差点、その右手奥が石橋駅です。駅前広場のメルヘンチックな大きな時計台が見えたのでズーム最大でパチリ。徳川將軍家の日光東照宮参拝道中の休憩所となった開雲寺へ、下野市名木30選の松の木が長く張り出していました。本堂前の羅漢さんの頭に赤トンボ、なんともユーモラス。コンビニでアイスクリームタイムをとって16時丁度、石橋ビジネスホテルに到着。駐車場空きスペースでクールダウン、1万8000歩、12kmでした。1階の大浴場（洗い場5つ）で汗を流して、18時30分から食堂で夕食懇親会。ビール大瓶500円、黒霧島ボトル1700円と財布に優しい価格でした。



(いちむら記)